

# 宿毛市消防団の沿革と概要

## (1) 沿革

宿毛市には、明治の初期旧宿毛町に小規模な消防組があったが、完全な機能を発揮することができず、公設の運びとなり、明治43年訓令29号による消防規則の公布により、同年4月高知県知事より公設消防の許可を得て、宿毛町消防が誕生、昭和17年警防団令公布により宿毛町警防団となる。昭和17年旧和田村と合併7分団に再編成、昭和22年宿毛町消防団として発足。昭和29年4月市制施行により、昭和30年4月、旧小筑紫町、旧平田町、旧山奈町、旧橋上町、旧沖の島町の消防団を合併し、24分団団員740名をもって宿毛市消防団として発足。昭和37年4月、8分団25部団員数640名に再編成。昭和44年4月消防署発足に伴い、昭和45年4月団員45名を減員483名となる。昭和49年11月同和地区の消防力の強化を図り、15名増員団員498名となり現在に至る。

## (2) 表彰歴

昭和 38 年 3 月 高知県消防協会会長より竿頭綬を授与される。  
昭和 45 年 3 月 日本消防協会会長より表彰旗を授与される。  
昭和 50 年 5 月 高知県知事より表彰旗を授与される。  
昭和 53 年 3 月 消防庁長官より竿頭綬を授与される。  
昭和 61 年 3 月 消防庁長官より竿頭綬を授与される。  
昭和 63 年 3 月 高知県消防協会会長より竿頭綬を授与される。  
平成 8 年 4 月 高知県知事より竿頭綬を授与される。  
平成 10 年 4 月 高知県消防協会会長より表彰旗を授与される。  
平成 13 年 11 月 国土交通大臣より水防功労者表彰状を授与される。  
平成 14 年 4 月 高知県知事より竿頭綬を授与される。  
平成 14 年 9 月 内閣総理大臣より防災功労者表彰状を授与される。  
平成 24 年 2 月 日本消防協会会長より竿頭綬を授与される。  
平成 28 年 3 月 日本消防協会会長より表彰旗を授与される。

## (3) 歴代消防団長

初代	田中進一氏	昭和30年4月	～	昭和40年8月
二代	西村英男氏	昭和40年8月	～	昭和49年5月
三代	奈良守氏	昭和49年5月	～	昭和52年1月
四代	柴岡計男氏	昭和52年1月	～	昭和62年6月
五代	九谷善二郎氏	昭和62年6月	～	平成5年4月
六代	浜田義弘氏	平成5年4月	～	平成13年4月
七代	笹木保氏	平成13年4月	～	平成16年4月
八代	江口文夫氏	平成16年4月	～	平成22年4月
九代	岡本憲正氏	平成22年4月	～	平成28年4月
十代	岩本公一氏	平成28年4月	～	現在に至る

# 大月町消防団の沿革と概要

## (1) 沿革

大正5年柏島、大正15年小才角、昭和2年古満目に消防組が創設された。昭和14年警防団の設置は国家的事業となり、消防組を解体し奥内村警防団・月灘村警防団として誕生した。

昭和22年4月30日消防団令の施行と共に警防団を改組、消防団を結成し各地区に分団を設置した。

昭和32年3月旧大内町・旧月灘村の合併により、大月町消防団として17分団・300名で発足する。

昭和57年4月1日消防の近代化に伴い、7分団15部・241名に再編成した。平成6年4月1日には1部の増設を行い、7分団16部・253名となる。さらに、平成23年4月1日に1部が再編成され、7分団17部253名として現在に至っている。

## (2) 表彰歴

- 昭和 50 年 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 昭和 53 年 日本消防協会長より表彰旗を授与される。
- 昭和 60 年 消防庁長官より竿頭綬を授与される
- 昭和 63 年 高知県消防協会より表彰旗を授与される。
- 平成 4 年 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 平成 8 年 高知県知事より表彰旗を授与される。
- 平成 11 年 消防庁長官より表彰旗を授与される。
- 平成 13 年 国土交通大臣より水防功労者表彰状を授与される。
- 平成 14 年 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 平成 14 年 内閣総理大臣より防災功労者表彰状を授与される。
- 平成 18 年 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
- 平成 31 年 日本消防協会長より表彰旗を授与される。

## (3) 歴代消防団長

初代	桜谷 完 氏	昭和 32 年 3 月	～	昭和 36 年 3 月
二代	松本 正明 氏	昭和 36 年 4 月	～	昭和 44 年 3 月
三代	松田 隆善 氏	昭和 44 年 4 月	～	昭和 48 年 3 月
四代	亀尾 猶蔵 氏	昭和 48 年 4 月	～	昭和 57 年 3 月
五代	後藤 純男 氏	昭和 57 年 4 月	～	平成 7 年 3 月
六代	久米 博 氏	平成 7 年 4 月	～	平成 20 年 3 月
七代	市原 泰 氏	平成 20 年 4 月	～	現在に至る

## 三原村消防団の沿革と概要

### (1) 沿革

三原村に消防団が設置されるまでは、昭和14年4月に警防団を設置し、消防並びに警防の事に当たっていた。

終戦とともに警防団は解散となり、昭和22年4月に消防団勅令が制定され、昭和22年5月に三原村消防団が組織され、昭和41年4月三原村消防団規則が改正され、1本部6分団に、昭和59年4月6分団を4分団に、団員総数53名で現在に至っている。

### (2) 表彰歴

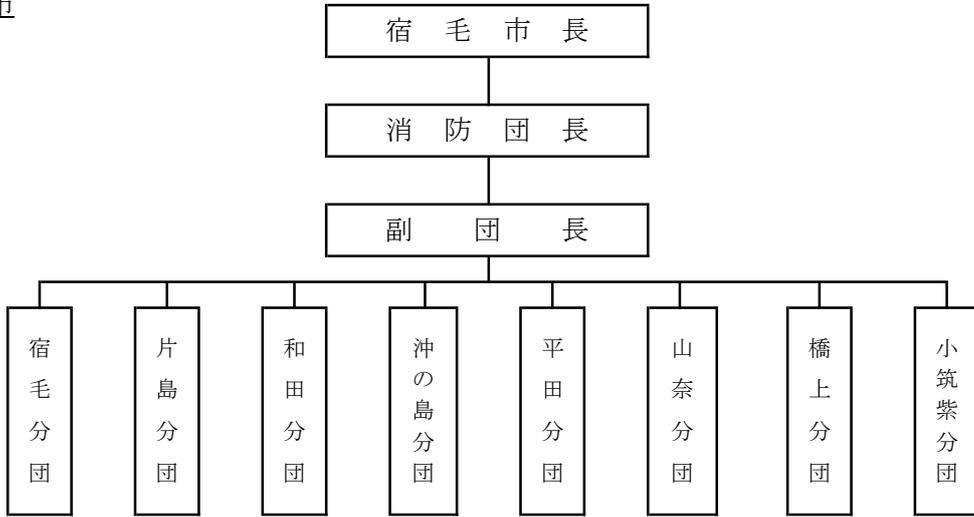
- 昭和 46 年 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 昭和 51 年 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
- 昭和 52 年 高知県消防協会より竿頭綬を授与される。
- 昭和 56 年 高知県消防協会より表彰旗を授与される。
- 昭和 60 年 高知県知事よりを竿頭綬を授与される。
- 昭和 63 年 消防庁長官より竿頭綬を授与される
- 平成 5 年 日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
- 平成 7 年 日本消防協会長より表彰旗を授与される。
- 平成 16 年 高知県知事より竿頭綬を授与される。
- 平成 26 年 日本消防協会より竿頭綬を授与される。
- 平成 27 年 高知県知事より表彰旗を授与される。
- 平成 28 年 消防庁長官より表彰端を授与される。

### (3) 歴代消防団長

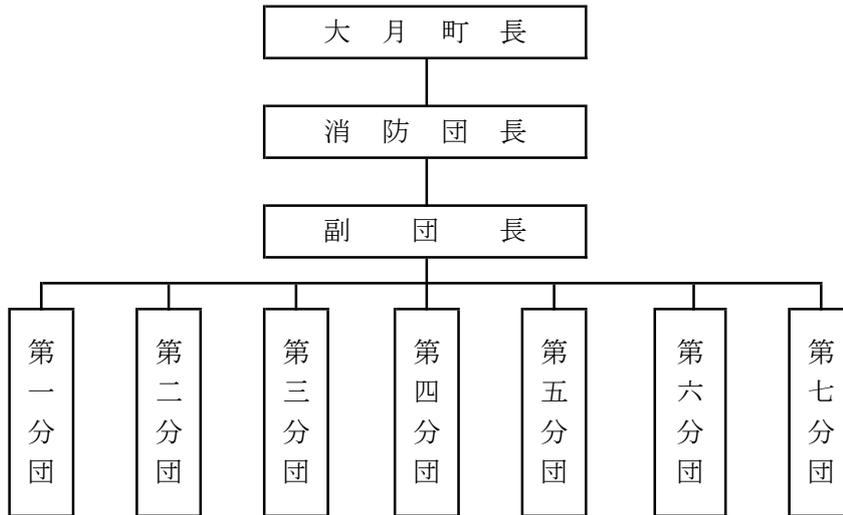
初代	杉本義夫氏	昭和 22 年 5 月	～	昭和 29 年 12 月
二代	田野昇氏	昭和 30 年 1 月	～	昭和 39 年 8 月
三代	矢野吉国氏	昭和 39 年 9 月	～	昭和 42 年 12 月
四代	亀山武助氏	昭和 43 年 1 月	～	昭和 47 年 12 月
五代	津野正男氏	昭和 48 年 2 月	～	昭和 59 年 3 月
六代	白石要氏	昭和 59 年 4 月	～	平成 元年 3 月
七代	大塚幸馬氏	平成 元年 4 月	～	平成 6 年 3 月
八代	沖六海氏	平成 6 年 4 月	～	平成 14 年 3 月
九代	熊谷熊王氏	平成 14 年 4 月	～	平成 21 年 3 月
十代	新谷和正氏	平成 21 年 4 月	～	平成 29 年 3 月
十一代	大倉民雄氏	平成 29 年 4 月	～	現在に至る

# 消防団組織図

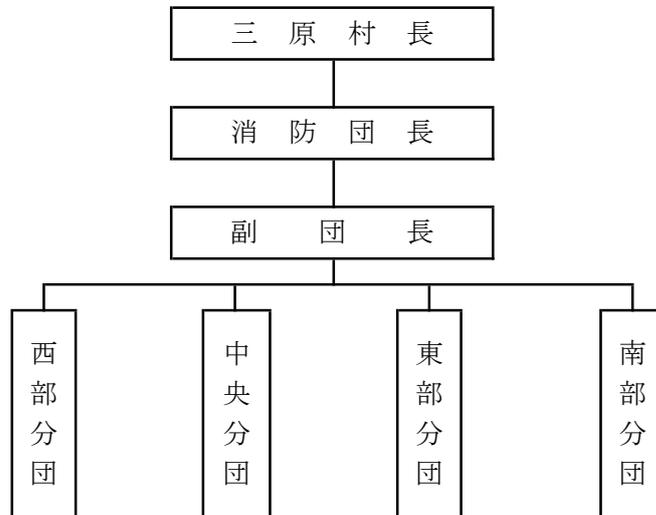
宿毛市



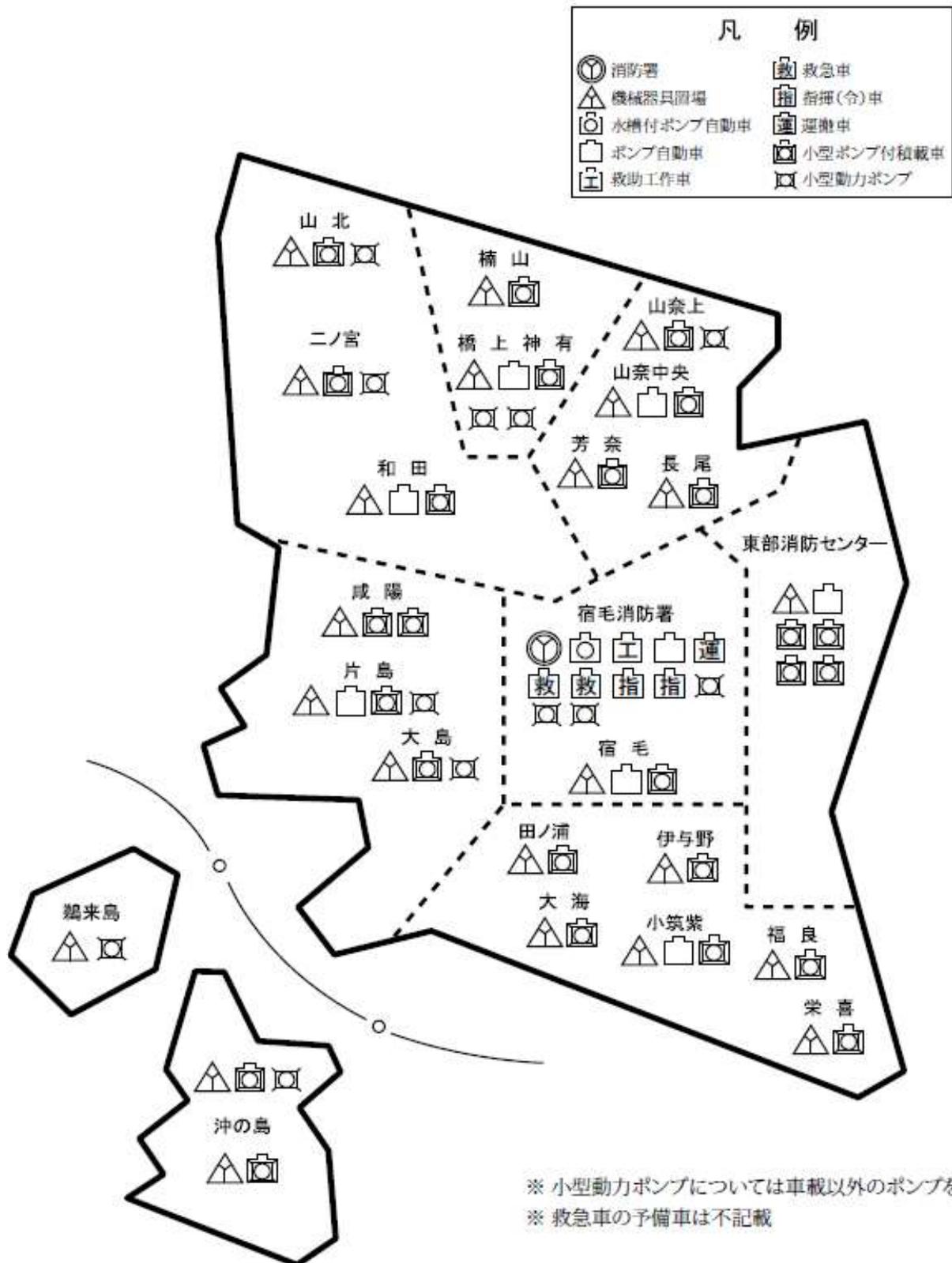
大月町



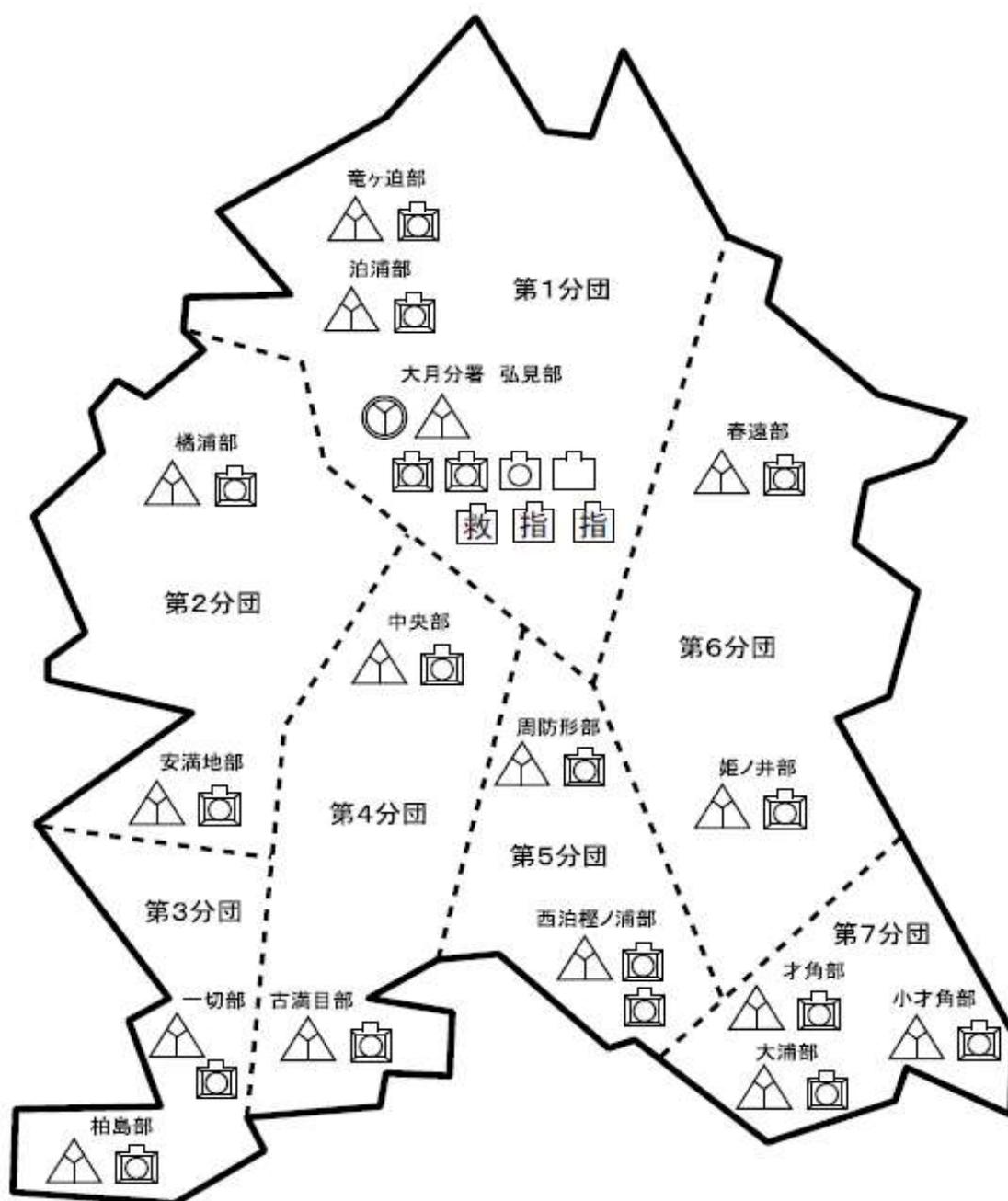
三原村



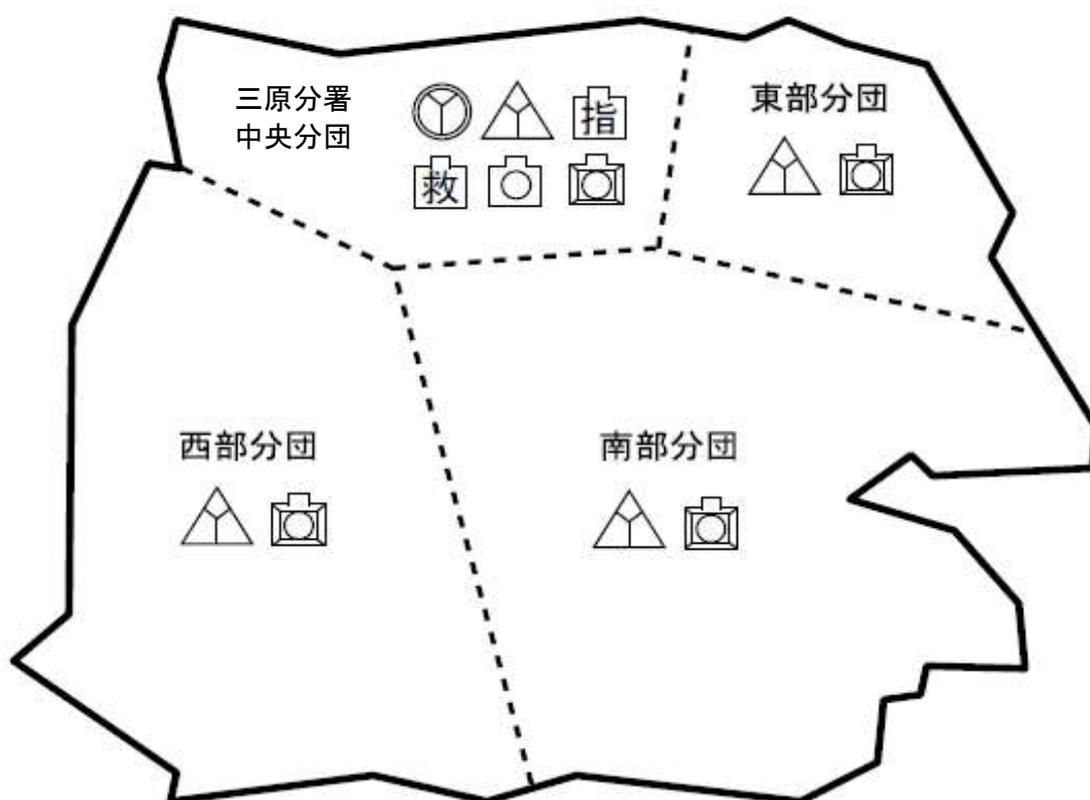
# 機械器具配置一覽表(宿毛市)



# 機械器具配置一覽表(大月町)



# 機械器具配置一覽表(三原村)



## 宿毛市消防団機械器具配置状況

(R 4. 4. 1現在)

種別		種別	車名 ポンプ名	ポンプ 型式	年式	経過 年数	地区名
分団	部名						
	本部	団指揮	ニッサン		R3	0	
		積載車	ニッサン		H12	21	
		小型動力ポンプ	ラビット	B612	H23	10	弘瀬
		〃	〃	P490	H6	27	手代岡
		〃	〃	P490	H4	29	山火事
宿毛分団	宿毛	ポンプ自動車	日野		H29	4	
		積載車	ニッサン		H10	23	
		小型動力ポンプ	ラビット	P476	H10	23	
片島分団	片島	ポンプ自動車	トヨタ		R1	2	
		積載車	トヨタ		H21	12	
		小型動力ポンプ	ラビット	P455	H21	12	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V38AS	S53	42	
	大島	積載車	トヨタ		H8	25	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H8	25	
		〃	〃	〃	S61	34	
	咸陽	積載車	トヨタ		H26	7	宇須々木
		積載車	ニッサン		H19	14	大深浦
		小型動力ポンプ	シバウラ		H26	7	宇須々木
		小型動力ポンプ	ラビット	P455	H19	14	大深浦
	和田分団	和田	ポンプ自動車	日野	長野ポンプ	R2	1
積載車			トヨタ		H6	27	正和
小型動力ポンプ			ラビット	P490	H6	27	正和
二ノ宮		積載車	トヨタ		H26	7	二ノ宮
		小型動力ポンプ	シバウラ		H26	7	二ノ宮
		小型動力ポンプ	トーハツ	V38AS	S56	40	中角
山北		積載車	トヨタ		H22	11	山北
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H22	11	〃

分 部 団 名	種 別		車 名 ポンプ名	ポンプ 型 式	年式	経過 年数	地区名	
	種	別						
平 田 分 団	戸内1	ポンプ自動車	日 野		H20	13		
		積 載 車	ト ヨ タ		R2	1		
		小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ	VF-53	H6	27		
	戸内2	積 載 車	ニ ッ サ ン			H10	23	
		小型動力ポンプ	ラ ビ ッ ト	P476	H10	23		
		積 載 車	ト ヨ タ			H6	27	貝礎
		小型動力ポンプ	ラ ビ ッ ト	P490	H10	23	貝礎	
	黒 川	積 載 車	ニ ッ サ ン			H23	10	
		小型動力ポンプ	ラ ビ ッ ト	P490	H23	10		
	沖 の 島 分 団	弘 瀬	軽 積 載 車	ス ズ キ			H23	10
小型動力ポンプ			ラ ビ ッ ト	B612	H23	10		
小型動力ポンプ			シ バ ウ ラ	B716	H20	13		
母 島		軽 積 載 車	ス ズ キ			H24	9	
		小型動力ポンプ	ラ ビ ッ ト	V46AMX	H12	21		
鵜来島		小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ	V4001	H9	24		
山 奈 分 団	中 央	ポンプ自動車	日 野		H21	12		
		軽 積 載 車	ダ イ ハ ツ		R3	0	手代岡	
		小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ	VF-53AS	R3	0	手代岡	
	山奈上	積 載 車	ニ ッ サ ン			H23	10	
		小型動力ポンプ	ラ ビ ッ ト	P490	H23	10		
		小型動力ポンプ	ト ー ハ ツ	V38BS	S53	42	天神	
	芳 奈	積 載 車	ト ヨ タ			H26	7	
		小型動力ポンプ	シ バ ウ ラ			H26	7	
	長 尾	積 載 車	ニ ッ サ ン			H20	13	
		小型動力ポンプ	ラ ビ ッ ト	P490	〃	13		

分 部 団	種 別		車 名 ポンプ名	ポンプ 型 式	年式	経過 年数	地区名
	種	別					
橋 上 分 団	橋 上	ポンプ自動車	日 野		H21	12	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H21	12	
		〃	〃	〃	H4	29	
	神 有	軽 積 載 車	ダイハツ		R2	1	
		小型動力ポンプ	トーハツ	VF53AS	R2	1	
	楠 山	積 載 車	ト ヨ タ		H7	26	
小型動力ポンプ		ラビット	P490	H7	26		
小 筑 紫 分 団	小筑紫	ポンプ自動車	日 野		H26	7	
		積 載 車	ト ヨ タ		H9	24	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H9	24	
	栄 喜	積 載 車	ニッサン		H14	19	
		小型動力ポンプ	ラビット	P490	H14	19	
	伊与野	積 載 車	ト ヨ タ		H30	3	
		小型動力ポンプ	トーハツ	VF53AS	〃	3	
	田ノ浦	積 載 車	ト ヨ タ		H22	11	
		小型動力ポンプ	ラビット	P456	〃	11	
	大 海	積 載 車	ニッサン		H19	14	
		小型動力ポンプ	ラビット	P455	〃	14	
	福 良	積 載 車	ニッサン		H19	14	
小型動力ポンプ		ラビット	P455	〃	14		

## 大月町消防団機械器具配置状況

(R 4. 4. 1現在)

種別 分団名		種別	車名 ポンプ名	ポンプ 型式	年式	経過 年数	地区名
団本部	本部	指揮車	ニッサン	クリッパー	H30	4	
		指令車	三菱	パジェロ	H22	12	
		資器材搬送車	スズキ	軽トラック	R1	3	
第一分団	弘見	積載車	いすゞ	救助資器材搭載型	H22	12	
		小型動力ポンプ	シバウラ	SF756AZ	〃	〃	
		積載車	ニッサン		H17	16	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	泊浦	積載車	ニッサン		H13	21	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	竜ヶ迫	軽積載車	ダイハツ	軽乗用車	H25	8	
		小型動力ポンプ	トーハツ	VF21AS	〃	〃	
第二分団	安満地	積載車	トヨタ		H30	4	
		小型動力ポンプ	トーハツ	FF400AS	〃	〃	
	橘浦	積載車	トヨタ		H26	7	
		小型動力ポンプ	シバウラ	V6201	〃	〃	
第三分団	柏島	積載車	ニッサン		H16	18	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	一切	積載車	ニッサン		R3	1	
		小型動力ポンプ	シバウラ	FS500	〃	1	
第四分団	古満目	積載車	ニッサン		H19	14	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201	〃	〃	
	中央	積載車	トヨタ		H30	4	
		小型動力ポンプ	シバウラ	FF400AS	〃	〃	

分 部 団	種 別		種 別	車 名 ポンプ名	ポンプ 型 式	年式	経過 年数	地区名
	種 別	種 別						
第五分団	周防形	積 載 車	ト ヨ タ			R2	2	
		小型動力ポンプ	シバウラ	FS500		〃	〃	
	西 泊	積 載 車	ニッサン			H21	12	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201		〃	〃	
	檜ノ浦	軽 積 載 車	三 菱	軽自動車		H17	17	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201		〃	〃	
第六分団	姫ノ井	積 載 車	ト ヨ タ			H27	6	
		小型動力ポンプ	シバウラ	SF651ZFI		〃	〃	
	春 遠	積 載 車	ト ヨ タ			H28	5	
		小型動力ポンプ	シバウラ	SF651ZFI		〃	〃	
第七分団	才 角	積 載 車	ト ヨ タ			R1	3	
		小型動力ポンプ	シバウラ	FF400AS		〃	〃	
	大 浦	積 載 車	ニッサン			H20	13	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201		〃	〃	
	小才角	積 載 車	ニッサン			H24	9	
		小型動力ポンプ	トーハツ	V6201		〃	〃	

## 三原村消防団機械器具配置状況 (R 4. 4. 1現在)

種 別 分 団	種 別	車 名 ポンプ名	ポンプ 型 式	年式	経過 年数	地区名
西部分団	軽 積 載 車	ス ズ キ		H22	11	亀ノ川
	小 型 動 力 ポンプ	シバウラ	SF656MZ	H22	〃	亀ノ川
中央分団	指 令 車 ( 軽 )	ホ ン ダ		H22	〃	来栖野
	水 槽 付 ポンプ車	日 野	モリタ	H20	13	来栖野
	救助資機材搭載型積載車	い す ゞ		H28	5	来栖野
	小 型 動 力 ポンプ	ト ー ハ ツ	VF53AS	H28	〃	来栖野
南部分団	積 載 車	ト ヨ タ		H22	11	下長谷
	小 型 動 力 ポンプ	シバウラ	P477	H22	〃	下長谷
東部分団	積 載 車	ト ヨ タ		H22	〃	上長谷
	小 型 動 力 ポンプ	シバウラ	P477	H22	〃	上長谷

## 消防団の人員並びに階級

(R 4. 4. 1現在)

市町村別	人 員								
	定員	実員	階 級 別						
			団 長	副団長	分団長	副分 団長	部 長	班 長	団 員
宿 毛 市	498	411	1	2	8	8	24	64	304
大 月 町	253	241	1	2	7	17	20	31	163
三 原 村	53	43	1	2	4	4	0	0	32

## 消防団装備

(R 4. 4. 1現在)

市町村別	消 防 施 設							
	消防屯所	消防ポン プ自動車	小型動力 ポンプ付 積 載 車	小型動力 ポンプ付 軽自動車	小型動力 ポ ン プ	指揮者	指令車	資機材 搬送車
宿毛市	24	7	23	5	35	1	0	0
大月町	16	0	16	2	19	1	1	1
三原村	3	1	3	1	4	0	1	0

## 消防団員の年齢構成

(R 4. 4. 1現在)

市町村別 \ 年齢	団員数	20歳未満	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55歳以上
宿毛市	411	1	8	13	42	65	99	85	41	59
大月町	241	1	0	16	14	29	35	48	28	70
三原村	43	0	0	0	9	3	9	8	6	8

## 消防団員の在職年数

(R 4. 4. 1現在)

市町村別 \ 年齢	団員数	5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上 ～ 15年未満	15年以上 ～ 20年未満	20年以上 ～ 25年未満	25年以上 ～ 30年未満	30年以上
宿毛市	411	67	79	87	79	43	31	25
大月町	241	54	47	51	31	27	17	14
三原村	43	5	14	10	5	1	4	4

## 消防団員年報酬

(R 4. 4. 1現在)

市町村別 \ 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
宿毛市	152,000	105,000	79,000	46,000	42,000	36,000	34,000
大月町	95,000	61,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
三原村	82,500	69,000	50,500	45,500			36,500













小型動力ポンプ付積載車 山火事含む  
小型動力ポンプ付軽積載車 沖の島2神有1・手代岡1署沖の島1  
小型動力ポンプ貝礎・正和組合含まない